

新光7資産バランスファンド

<愛称：七重奏>

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、7つの投資信託証券を通じて、国内外の各種資産（株式、公社債、不動産投資信託証券）にバランスよく分散投資します。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年4月22日～2025年10月20日

第221期	決算日：2025年 5 月20日	
第222期	決算日：2025年 6 月20日	
第223期	決算日：2025年 7 月22日	
第224期	決算日：2025年 8 月20日	
第225期	決算日：2025年 9 月22日	
第226期	決算日：2025年10月20日	
第226期末 (2025年10月20日)	基 準 価 額	12,812円
	純資産総額	4,782百万円
第221期～ 第226期	騰 落 率	15.9%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

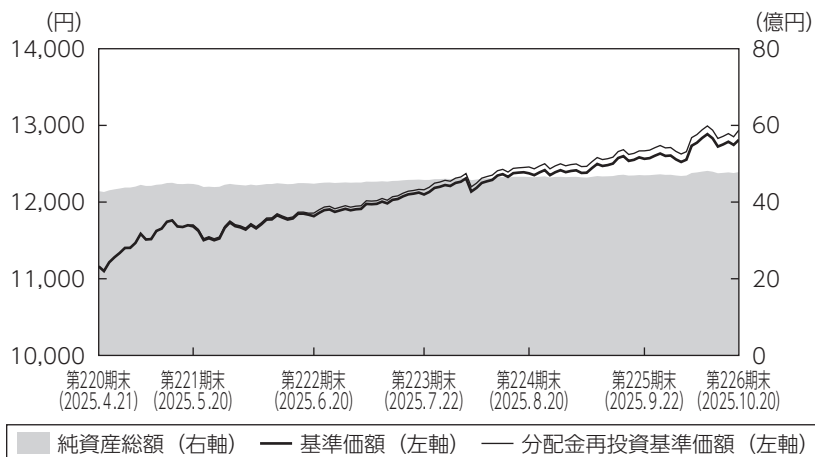
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第221期首： 11,161円
 第226期末： 12,812円
 (既払分配金120円)
 騰 落 率： 15.9%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

作成期首11,161円（1万口あたり、以下同じ）でスタートした基準価額は、12,812円（税引前分配金再投資ベースで作成期首比+15.93%）で作成期末を迎えました。

当作成期は、米国と日本、欧州等の間での関税合意が好感されたなどからリスクオンの動きがみられ、組み入れ資産の外国株式や日本株式を中心として基準価額が上昇しました。また、米ドル/円など為替市場で円安が進行したことが外国資産にプラスに寄与しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第221期～第226期 (2025年4月22日 ～2025年10月20日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	63円	0.520%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,105円です。
(投信会社)	(28)	(0.230)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(30)	(0.246)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	29	0.237	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(29)	(0.236)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	92	0.757	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

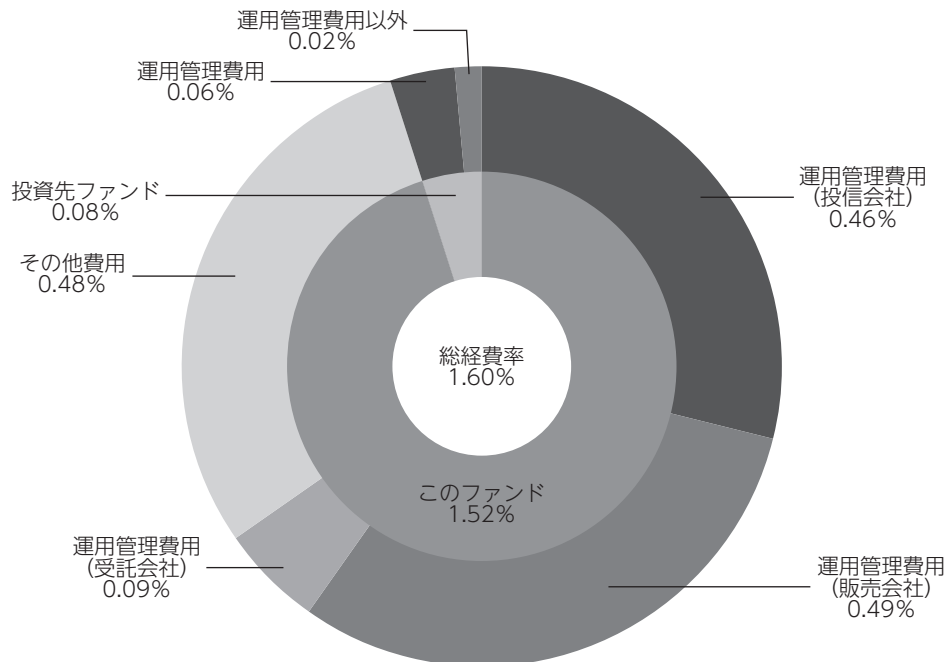
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.60%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.60%
①このファンドの費用の比率	1.52%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.06%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

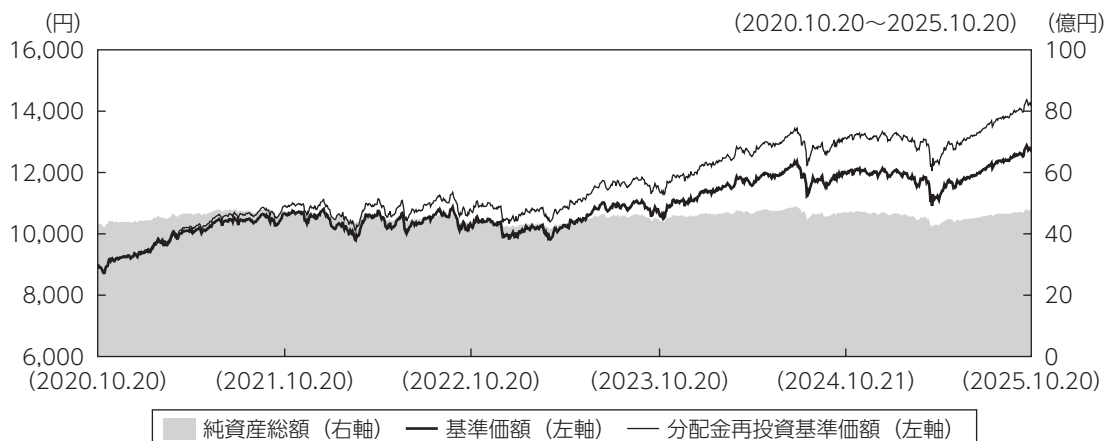
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドは、源泉税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年10月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年10月20日 期首	2021年10月20日 決算日	2022年10月20日 決算日	2023年10月20日 決算日	2024年10月21日 決算日	2025年10月20日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	8,946	10,661	10,262	10,617	11,988	12,812
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	22.1	△1.5	5.9	15.3	9.0
純資産総額 (百万円)	4,344	4,749	4,398	4,428	4,697	4,782

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

国内株式

作成期間において国内株式市場は上昇しました。

期初から5月にかけては日銀の利上げ見送りや米中による大幅関税引き下げが好感され上昇しました。

期末にかけては、米国の早期利下げ期待により米国株高が継続したことや、10月の自民党総裁選で積極財政を掲げる高市候補が勝利したことなどが好感され、一段高の展開となりました。

外国株式

作成期間において外国株式は上昇しました。

作成期初、外国株式は2025年4月上旬に米国が発表した関税政策に対する警戒感が和らぎ上昇しました。その後も欧州で利下げが行われたことや米国で利下げ観測が浮上したこと、またAI（人工知能）関連市場の拡大期待などから堅調に推移しました。

国内債券

作成期間において国内債券市場は下落（利回りは上昇）となりました。

期初から5月にかけては、米国債格下げを受けた米金利上昇、軟調な入札結果などを受けて利回りが上昇しました。6月は超長期債発行減額の思惑などを背景に、利回りが低下（価格は上昇）しました。7月から期末にかけては、米金利の上昇に連れた動きや、参院選後の財政悪化を懸念する見方などから、利回りが上昇しました。

外国債券（主要先進国）

主要国の国債利回りはまちまちでした。米国では景気が底堅さを維持する中、トランプ政権の関税によるインフレ再燃への警戒感から、FRB（米連邦準備理事会）が利下げに慎重な姿勢を示したことを背景に国債利回りは上昇（価格は下落）しましたが、その後労働市場の減速が意識されると利回りは低下に転じました。一方、欧州では各国の防衛支出拡大が財政規律緩和や国債需給悪化を想起させ、独仏や北欧では利回りが上昇しました。

外国債券（新興国）

作成期間において、新興国の債券市場は上昇（利回りは低下）しました。

米金利低下に連れて利回りは低下方向で推移しました。また、一部金産出国において金価格上昇を受けてファンダメンタルズ改善期待から買われる動きもあり、利回りは低下しました。

国内REIT

作成期間においてリート市場は上昇しました。

日銀の利上げ見送りや追加利上げ観測の後退を好材料として上昇しました。期末にかけては日銀の利上げ観測やJ-REIT売却決定が上値を抑える場面もありましたが、市場への影響は限定的で堅調に推移しました。

米国REIT

作成期間において米国REIT市場は上昇しました。

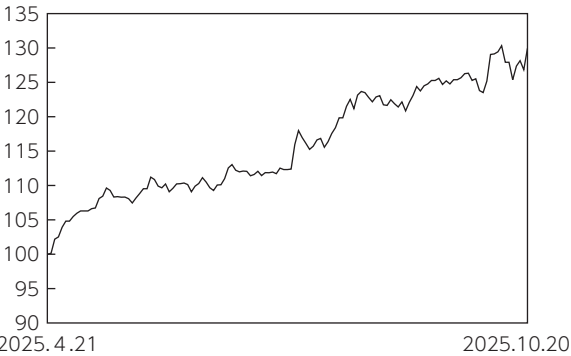
作成期初、米国REITは2025年4月上旬に米国が発表した関税政策に対する警戒感が和いだことに加え、関税による直接の影響を受けにくい資産としてREITが選好されたことから上昇しました。その後、米国は9月中旬まで政策金利が据え置かれたことなどから上値の重い展開が続き作成期末を迎えました。

為替主要通貨

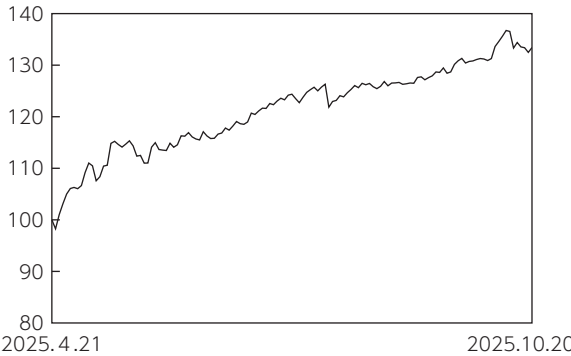
1米ドル=141円台前半でスタートした米ドル/円相場は、日本の参院選の結果、石破氏の辞任等を受けた政局不透明感から円安ドル高方向の1米ドル=151円台前半で作成期末を迎えました。またECB（欧州中央銀行）の金利据え置き決定を受け、ユーロが対米ドルで上昇した結果、1ユーロ=161円台後半でスタートしたユーロ/円相場は円安ユーロ高方向の、1ユーロ=176円台前半で作成期末を迎えました。

(ご参考)

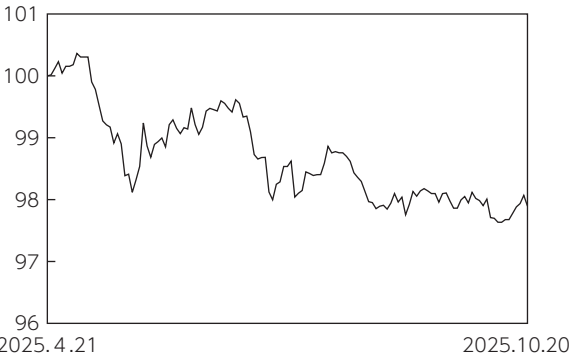
<国内株式>



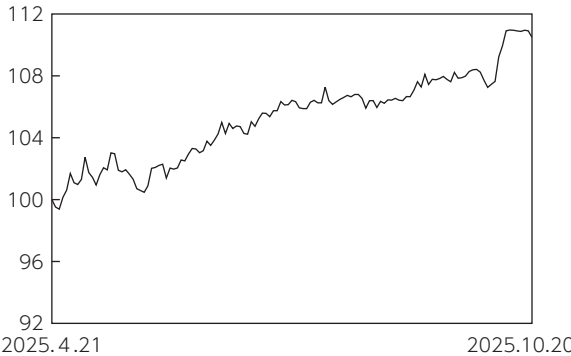
<外国株式>

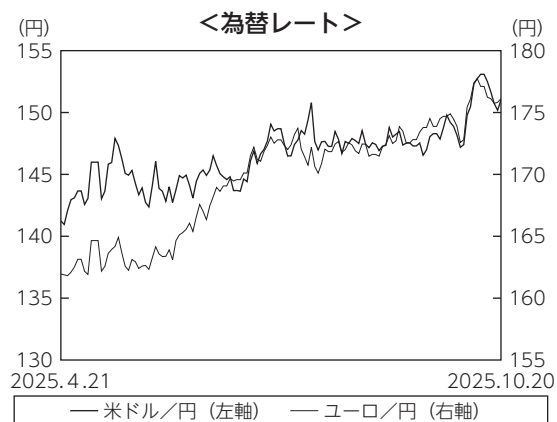
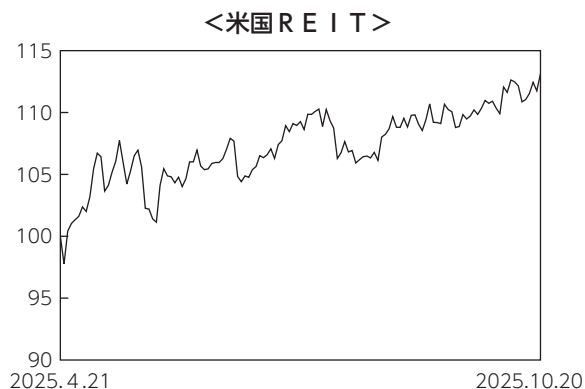
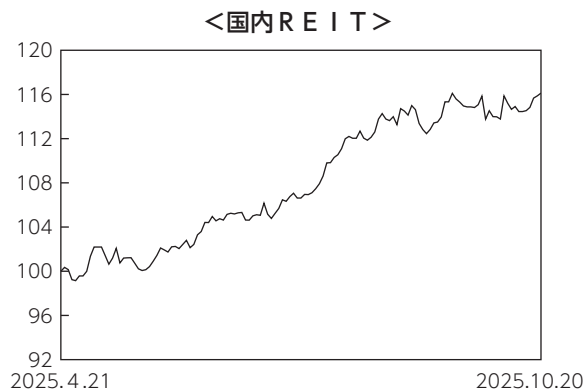
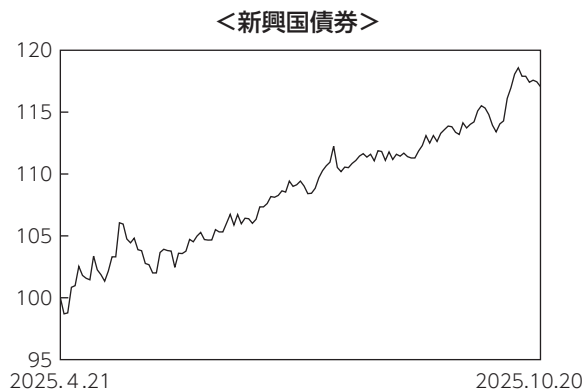


<国内債券>



<先進国債券>





国内株式：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
 外国株式：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
 国内債券：NOMURA-BPI総合
 先進国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、7-10年、円ベース）
 新興国債券：JP Morgan EMBI Global Diversified（円換算）
 国内REIT：東証REIT指数（配当込み）
 米国REIT：FTSE NAREIT All Equity REITs インデックス（配当込み、円換算）

※2025年4月21日＝100としています。
 ※上記指数は参考情報として記載しているため、前述の投資環境と内容が異なる場合があります。

ポートフォリオについて

●当ファンド

投資信託証券の組入比率は、当作成期間を通じて概ね高位を維持しました。各投資信託証券への投資は、「基本投資配分比率」（純資産総額に対して各投資信託証券の組み入れが均等となる配分比率で、1投資信託証券当たり約14.3%）に基づき、ファンドの資金動向に応じて各投資信託証券の売買を実施しました。

●ニュー トピックス インデックス マザーファンド

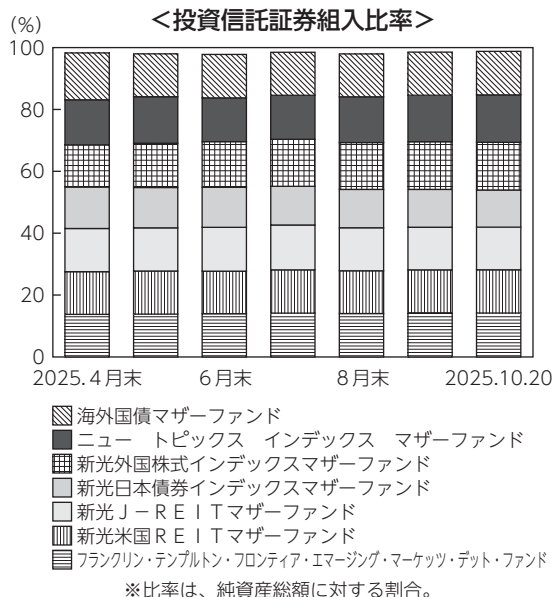
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に連動する投資成果を目指し、わが国の株式市場の動きと信託財産の長期的成長を捉えることを目標としています。運用にあたっては、TOPIXにおける業種別、銘柄別時価構成比等を勘案し、ポートフォリオを構築しました。また、現物株式と株価指数先物取引を合計した実質の株式組入比率は、期を通じて高位に保ちました。

●新光日本債券インデックスマザーファンド

NOMURA-BPI総合（以下、「ベンチマーク」といいます）に連動することを目指した運用を行いました。当作成期間を通じて債券の組入比率を高位に維持し、ポートフォリオのデュレーションや残存期間別の構成比、債券種別の構成比をベンチマークに近似させました。また、月次でのベンチマークの銘柄入れ替えに合わせてリバランスを実施しました。

●新光外国株式インデックスマザーファンド

運用にあたっては、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）の採用銘柄を主要投資対象として、同指数とほぼ同様のポートフォリオを構築しています。高位の組入比率を維持するために外国株価指数先物取引を併用し、現物外国株式（含む外国投資信託証券）と外国株価指数先物取引を合計した実質の外国株式組入比率は当作成期間を通じて高位を保ちました。



●海外国債マザーファンド

日本を除く世界主要先進国の公社債を主要投資対象とし、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。作成期間の運用成果はベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、7～10年、円ベース）を上回りました。ベンチマークに対する米国のデデュレーション長期化や、ユーロ圏周辺国を多めに保有したことなどがプラス要因となりました。

●新光Ｊ－ＲＥＩＴマザーファンド

ＲＥＩＴ（不動産投資信託証券）の組入比率を高め、ベンチマークである東証ＲＥＩＴ指数（配当込み）との連動性を保つように努めました。また、ベンチマークの構成銘柄の変更に応じたポートフォリオのリバランスを行い、資金の流入・流出に応じたきめ細かなポートフォリオ調整を実施し、ベンチマーク指数と同等のリスク特性を維持しました。

●新光米国ＲＥＩＴマザーファンド

米国の取引所上場および店頭市場登録の不動産投資信託証券（以下、ＲＥＩＴといいます）を主要投資対象とし、円換算したFTSE NAREIT All Equity REITs インデックス（配当込み）（以下、ベンチマークといいます）の動きを概ね捉える運用を行っています。当作成期間を通じてＲＥＩＴの組入比率を高位に保ち、当作成期間に行われたベンチマーク構成銘柄の変更などについては銘柄別の時価構成比を勘案し、適宜ポートフォリオの見直しを行いました。

●フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド

高いインカム利回りと長期的な元本の成長を目的として、上場または非上場の新興諸国のソブリン債または準ソブリン債に主として投資を行いました。当作成期間を通じて、既存銘柄の売却、保有銘柄の買い増し、新規銘柄の買い付けにより、適宜ポートフォリオの見直しを行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第221期	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期
	2025年4月22日 ～2025年5月20日	2025年5月21日 ～2025年6月20日	2025年6月21日 ～2025年7月22日	2025年7月23日 ～2025年8月20日	2025年8月21日 ～2025年9月22日	2025年9月23日 ～2025年10月20日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.17%	0.17%	0.17%	0.16%	0.16%	0.16%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	2,643円	2,656円	2,670円	2,789円	2,978円	3,226円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

7つの投資信託証券に分散投資し、リスク分散を図りながら安定した収益の確保と長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

投資に当たっては、投資信託証券の組入比率を高位に維持するとともに、各投資信託証券への投資は基本投資配分比率に基づいて行います。また、各投資信託証券の構成比率を基本投資配分比率に戻すリバランスについては、所定の方針に基づいて実施する方針です。

●ニュー トピックス インデックス マザーファンド

引き続き、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に連動した投資成果を目指し、運用を行います。運用にあたっては、実質の株式組入比率を高位に保ちます。

●新光日本債券インデックスマザーファンド

引き続き運用の基本方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。公社債の組入比率を高位に維持するとともに、ベンチマークの特性に近似したポートフォリオを構築する方針です。

●新光外国株式インデックスマザーファンド

ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）への連動を目指し、現物外国株式と外国株価指数先物取引を合わせた組入比率を高位に保ちます。

●海外国債マザーファンド

ベンチマークを上回る投資成果を目指し、主として主要先進6ヵ国（米国、カナダ、ドイツ、フランス、イタリア、英国）の政府が発行する国債と政府機関債（国債と同様の格付けをもつもの）に投資しますが、一部その他のベンチマーク構成国の国債に投資を行います。デュレーションならびに国別配分は、投資対象各国・地域の金融政策、財政政策、経済動向などを勘案して機動的に調整します。

●新光Ｊ－ＲＥＩＴマザーファンド

引き続き、ＲＥＩＴの組入比率を高め、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。ベンチマークの構成銘柄の変更に応じたポートフォリオのリバランスを行い、資金の流入・流出に応じたきめ細かなポートフォリオ調整を実施し、ベンチマークと同等のリスク特性を維持するよう努めます。

●新光米国ＲＥＩＴマザーファンド

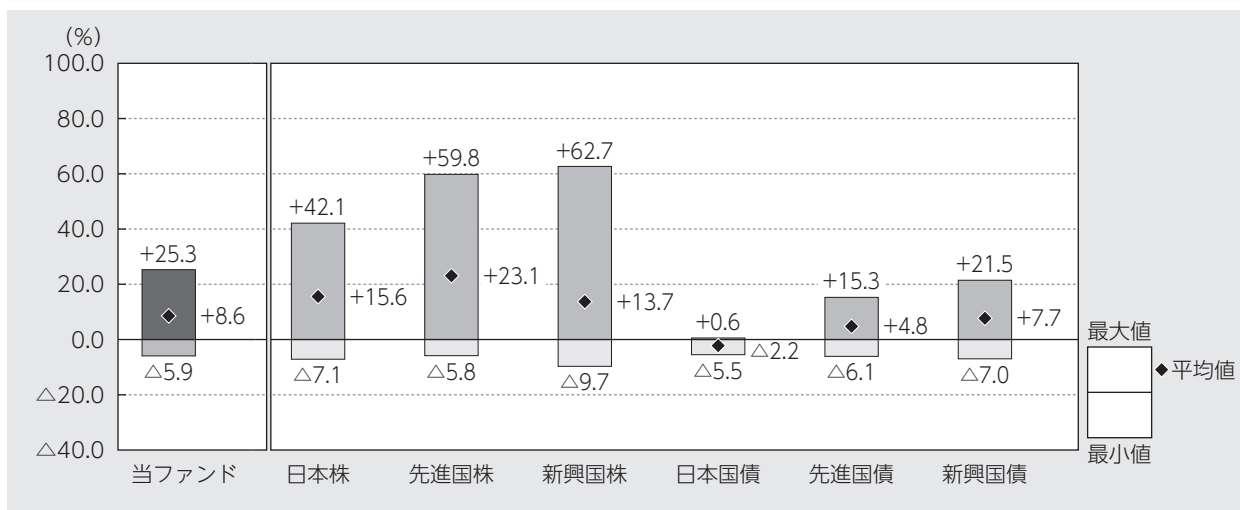
ＲＥＩＴの組入比率を高位とし、ベンチマークである円換算したFTSE NAREIT All Equity REITs インデックス（配当込み）の動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行う方針です。

●フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド

新興国特有のリスクを考慮しながら、上場または非上場の新興諸国のソブリン債・準ソブリン債を中心とした投資を継続する方針です。

当ファンドの概要		
商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2006年10月31日から2026年10月20日までです。	
運 用 方 針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	新光7資産バランスファンド	ニュー トピックス インデックス マザーファンド受益証券、新光日本債券インデックスマザーファンド受益証券、新光外国株式インデックスマザーファンド受益証券、海外国債マザーファンド受益証券、新光Ｊ－ＲＥＩＴマザーファンド受益証券、新光米国ＲＥＩＴマザーファンド受益証券、フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド受益証券。
	ニュー トピックス インデックス マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち、東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）に採用されている（または採用予定の）銘柄。
	新光日本債券インデックス マザー ファンド	わが国の公社債。
	新光外国株式インデックス マザー フ ァ ン ド	日本を除く世界主要先進国の株式。
	海外国債マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の公社債。
	新光Ｊ－ＲＥＩＴマザーファンド	東証ＲＥＩＴ指数の採用銘柄（採用予定を含みます）。
	新光米国ＲＥＩＴマザーファンド	米国の取引所上場および店頭市場登録の不動産投資信託証券。
	フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド	新興諸国のソブリン債または準ソブリン債。
運 用 方 法	①以下の投資信託証券を通じて、実質的にわが国および海外の、株式、公社債および不動産投資信託証券に分散投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 内国証券投資信託（親投資信託） ニュー トピックス インデックス マザーファンド受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 新光日本債券インデックスマザーファンド受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 新光外国株式インデックスマザーファンド受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 海外国債マザーファンド受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 新光Ｊ－ＲＥＩＴマザーファンド受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 新光米国ＲＥＩＴマザーファンド受益証券 ケイマン諸島籍外国投資信託 フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド円建受益証券	
	②投資信託証券の組入比率は、原則として、高位とすることを基本とし、基本投資配分比率に基づき各投資信託証券に投資を行います。基本投資配分比率は、純資産総額に対する各投資信託証券の構成比率が均等となる率とします。 ③各投資信託証券の構成比率については、原則として、６ヵ月毎にチェックを行い、基本投資配分比率に対し一定の範囲を超過している場合には調整を行います。 ④投資信託証券に含まれる外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて為替ヘッジを行いません。 ⑤フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド円建受益証券への投資にあたっては、フランクリン テmplton インベストメント マネジメント リミテッドから投資助言および情報提供を受けます。	
分 配 方 針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を基礎として安定した分配を行うことを目標に決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。上記にかかわらず、上記にかかる分配金のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年10月～2025年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

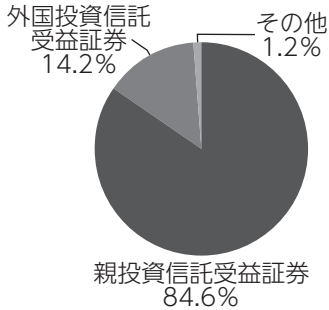
当ファンドの組入資産の内容（2025年10月20日現在）

◆組入ファンド等（組入ファンド数：7ファンド）

	第226期末
	2025年10月20日
新光外国株式インデックスマザーファンド	15.4%
ニュー トピックス インデックス マザーファンド	15.3
フランクリン・テンプレートン・フロンティア・エマー ジング・マーケット・デット・ファンド	14.2
海外国債マザーファンド	14.1
新光米国 R E I Tマザーファンド	14.0
新光 J－R E I Tマザーファンド	13.8
新光日本債券インデックスマザーファンド	12.0
その他	1.2

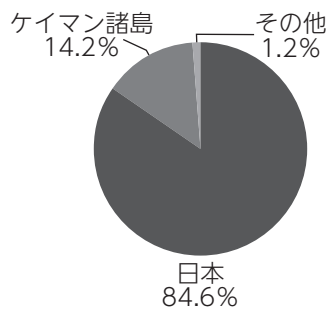
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

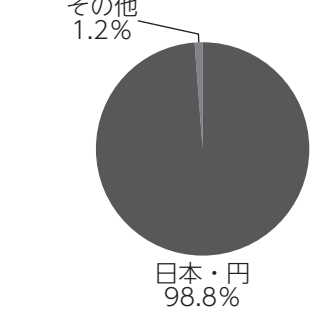


（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。
（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

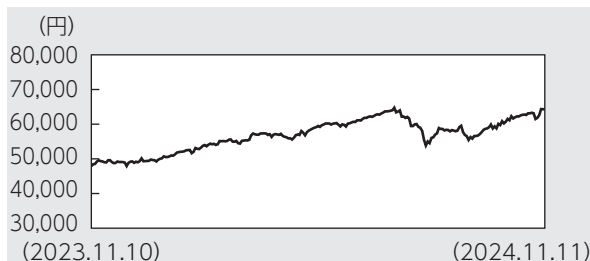
項目	第221期末	第222期末	第223期末	第224期末	第225期末	第226期末
	2025年5月20日	2025年6月20日	2025年7月22日	2025年8月20日	2025年9月22日	2025年10月20日
純資産総額	4,471,452,338円	4,478,546,788円	4,577,196,939円	4,655,537,911円	4,697,750,329円	4,782,414,132円
受益権総口数	3,827,315,998口	3,790,314,447口	3,783,208,163口	3,761,958,246口	3,739,045,433口	3,732,700,009口
1万口当たり基準価額	11,683円	11,816円	12,099円	12,375円	12,564円	12,812円

（注）当作成期間（第221期～第226期）中における追加設定元本額は4,936,739円、同解約元本額は112,034,998円です。

組入ファンドの概要

【新光外国株式インデックスマザーファンド】（計算期間 2023年11月11日～2024年11月11日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	4.9%
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.5
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	4.0
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.6
META PLATFORMS INC	アメリカ・ドル	1.7
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	1.4
TESLA INC	アメリカ・ドル	1.2
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.2
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	1.1
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	0.9
組入銘柄数	1,199銘柄	

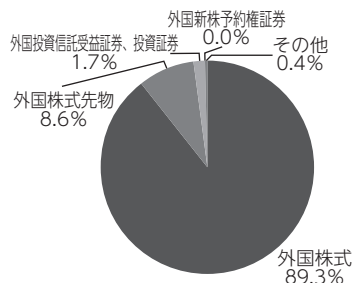
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	3円	0.005%
(株式)	(1)	(0.002)
(先物・オプション)	(2)	(0.003)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	0	0.001
(株式)	(0)	(0.001)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	621	1.094
(保管費用)	(621)	(1.094)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	625	1.101
期中の平均基準価額は56,762円です。		

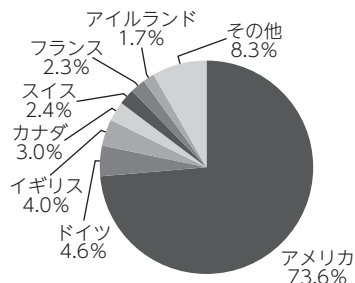
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
S&P500 EMINI FUTURES	買建	5.1%
DJ EURO STOXX 50	買建	2.6
FTSE 100 INDEX FUTURE	買建	0.9
組入銘柄数	3銘柄	

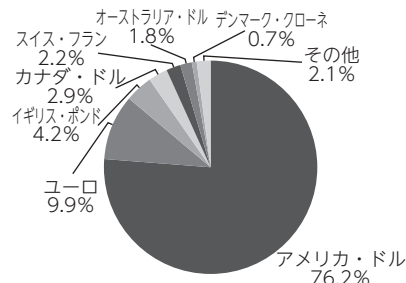
◆資産別配分



◆国別配分



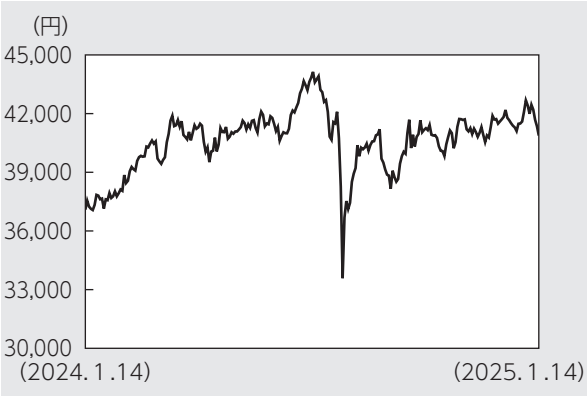
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
- (注8) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。
- (注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[ニュートピックス インデックス マザーファンド] (計算期間 2024年1月15日～2025年1月14日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	4.0%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	3.1
ソニーグループ	日本・円	2.9
日立製作所	日本・円	2.5
リクルートホールディングス	日本・円	2.2
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	2.0
キーエンス	日本・円	1.6
任天堂	日本・円	1.5
東京エレクトロン	日本・円	1.4
伊藤忠商事	日本・円	1.4
組入銘柄数	955銘柄	

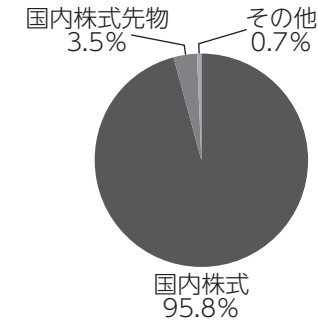
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	0円	0.001%
(株)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001
期中の平均基準価額は40,623円です。		

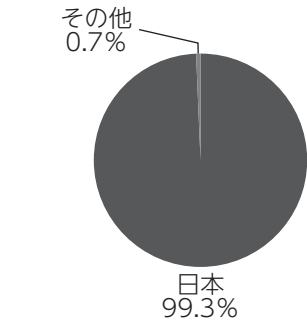
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
TOPIX	買建	3.5%
組入銘柄数	1銘柄	

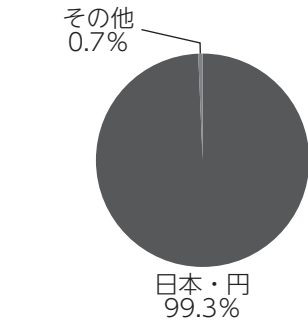
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

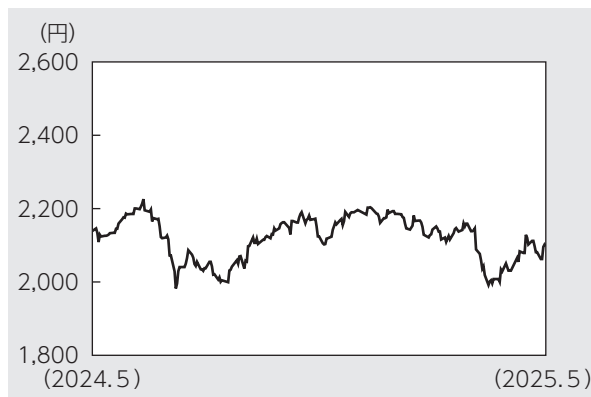
(注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

【フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド】（計算期間 2024年6月1日～2025年5月31日）

◆基準価額の推移



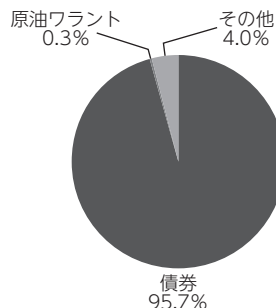
◆組入上位10銘柄

銘柄名	国（地域）	比率
Mexican Bonos 8.000% due 07/11/2047	メキシコ	3.0%
Romani 6.125% due 22/01/2044 REGS	ルーマニア	2.8
Asian Development Bank 17.500% due 18/02/2027	国際機関	2.6
Bogota Distrito Capital 9.750% due 26/07/2028 REGS	コロンビア	2.6
Angolan Government International Bond 8.000% due 26/11/2029 REGS	アンゴラ	2.4
Colombia Government International Bond 7.500% due 02/02/2034	コロンビア	2.4
Asian Development Bank 5.550% due 12/09/2025	国際機関	2.3
Heritage Petroleum Co. Ltd 9.000% due 12/08/2029 REGS	トリニダード・トバゴ	2.3
Government of South Africa 4.300% due 28/02/2041	南アフリカ	2.3
Kazmunaygas National Co JSC 5.750% due 19/04/2047 REGS	カザフスタン	2.2
組入銘柄数	83銘柄	

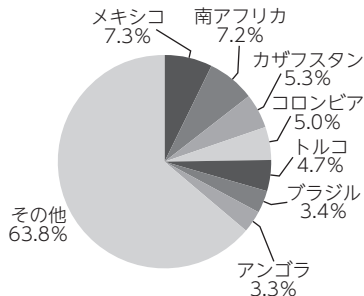
◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

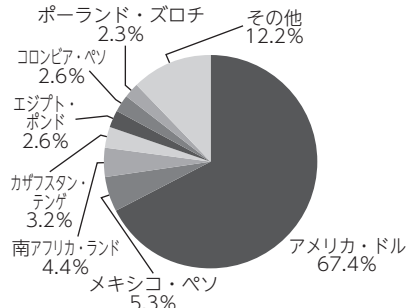
◆資産別配分



◆国別配分



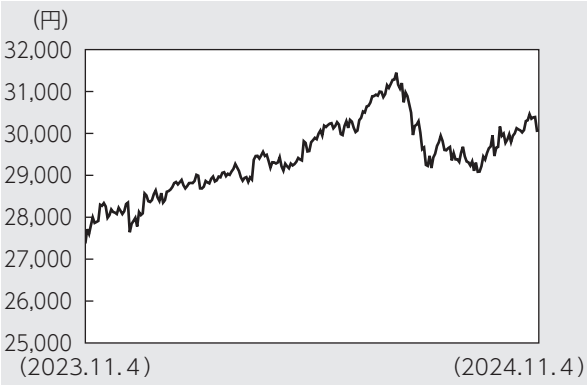
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はフランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの計算期間のものです。また、当期における分配金を再投資したものととしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。
- (注3) 組入上位10銘柄のREGSは下記のとおりです。
(REGS) Regulation Sの略。米国外での証券の募集に関して1990年に米証券取引委員会より定められた規制です。米国企業が米国外で募集した証券については当局での登録義務が免除されており、米国証券を購入する海外投資家の負担を軽減しています。
- (注4) 比率は、フランクリン・templton・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 資産別配分、国別配分の現金等はその他として表示しています。
- (注6) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示してあります。
- (注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注8) 国別配分については、国際機関債をその他に含めて集計しています。
- (注9) 通貨別配分は各通貨に現金等を含みます。
- (注10) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、財務書類等を基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【海外国債マザーファンド】（計算期間 2023年11月5日～2024年11月4日）

◆基準価額の推移



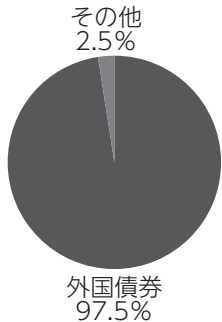
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 2.875 05/15/32	アメリカ・ドル	8.9%
US T N/B 3.5 02/15/33	アメリカ・ドル	6.3
ITALY BTPS 4.2 03/01/34	ユーロ	5.3
DEUTSCHLAND 2.3 02/15/33	ユーロ	5.2
DEUTSCHLAND 2.2 02/15/34	ユーロ	5.0
US T N/B 4.5 11/15/33	アメリカ・ドル	4.5
US T N/B 3.875 08/15/34	アメリカ・ドル	4.5
ITALY BTPS 4.4 05/01/33	ユーロ	4.4
FRANCE OAT 3.5 11/25/33	ユーロ	4.2
US T N/B 3.875 08/15/33	アメリカ・ドル	4.1
組入銘柄数	38銘柄	

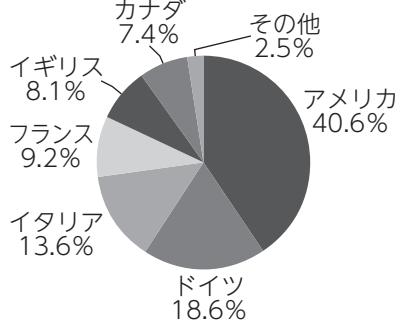
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	10円 (9)	0.032% (0.032)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	10	0.032
期中の平均基準価額は29,421円です。		

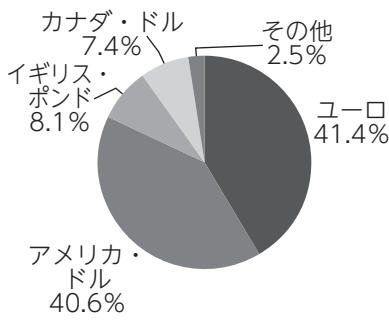
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

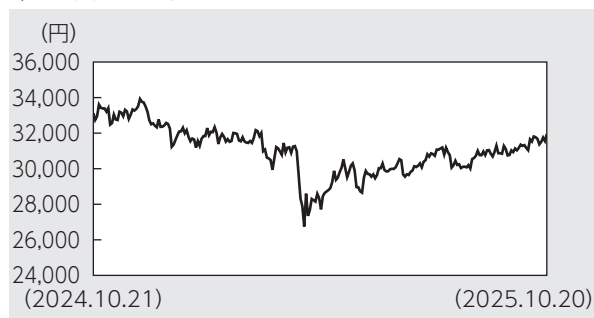
(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【新光米国REITマザーファンド】（計算期間 2024年10月22日～2025年10月20日）

◆基準価額の推移



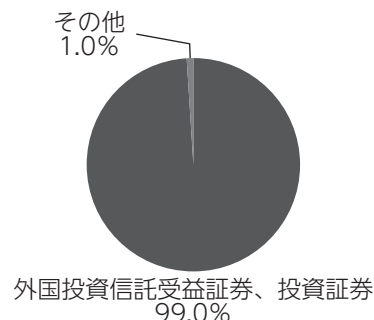
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	8.4%
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	8.2
AMERICAN TOWER CORP	アメリカ・ドル	6.4
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	5.7
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	4.2
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	4.1
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	3.9
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.5
CROWN CASTLE INC	アメリカ・ドル	3.0
VICI PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	2.3
組入銘柄数	139銘柄	

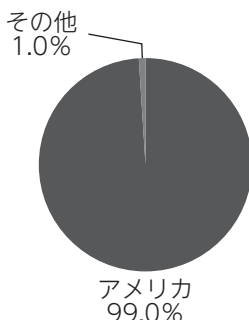
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	0円 (0)	0.001% (0.001)
(b) 有価証券取引税 (投資証券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用)	101 (104)	0.327 (0.335)
(その他)	(△ 3)	(△0.008)
合計	102	0.328
期中の平均基準価額は31,022円です。		

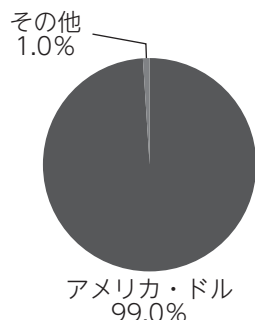
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

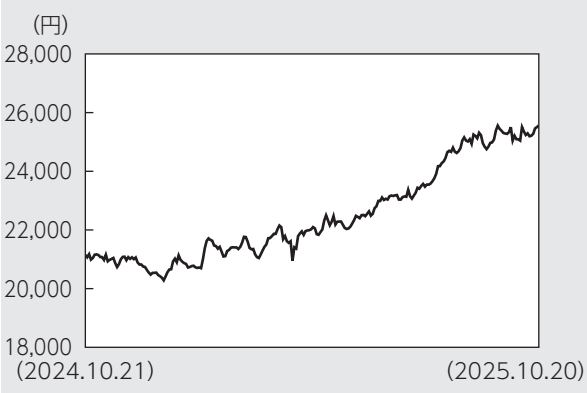
(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【新光J－REITマザーファンド】（計算期間 2024年10月22日～2025年10月20日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
日本ビルファンド投資法人	日本・円	7.1%
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	5.5
日本都市ファンド投資法人	日本・円	5.1
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	4.4
KDX不動産投資法人	日本・円	4.3
GLP投資法人	日本・円	3.9
日本プロロジスリート投資法人	日本・円	3.8
大和ハウスリート投資法人	日本・円	3.5
ユナイテッド・アーバン投資法人	日本・円	3.5
オリックス不動産投資法人	日本・円	3.4
組入銘柄数	58銘柄	

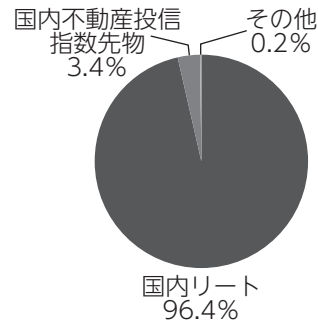
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)	0.002% (0.002)
合計	0	0.002
期中の平均基準価額は22,496円です。		

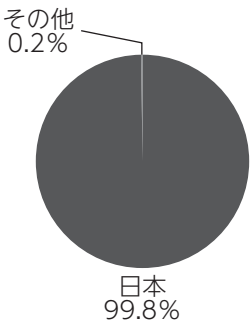
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
東証REIT	買建	3.4%
組入銘柄数	1銘柄	

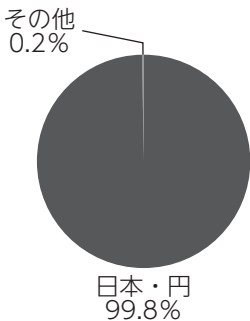
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

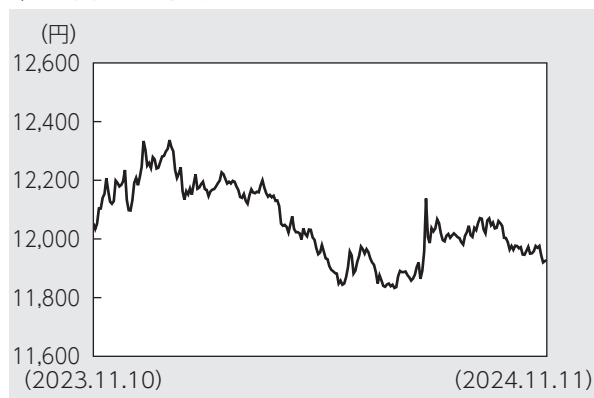
(注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【新光日本債券インデックスマザーファンド】（計算期間 2023年11月11日～2024年11月11日）

◆基準価額の推移



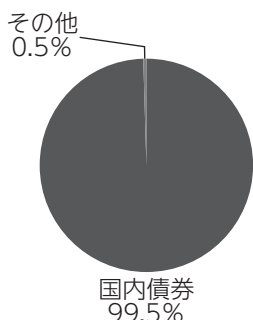
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
147回 利付国庫債券（5年）	日本・円	1.2%
351回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.1
375回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.1
97回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	1.0
18回 東京都公募公債 20年	日本・円	1.0
12回 兵庫県公募公債 15年	日本・円	1.0
218回 神奈川県公募公債	日本・円	1.0
87回 中日本高速道路債券	日本・円	1.0
169回 共同発行市場公募地方債	日本・円	1.0
374回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.0
組入銘柄数	256銘柄	

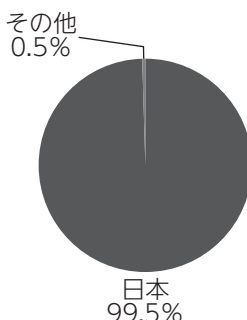
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

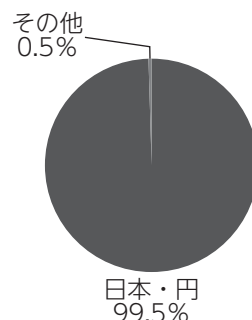
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。